

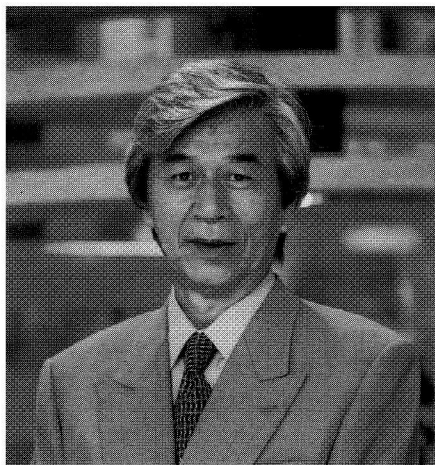
●開催趣意ならびに主催者からのメッセージ

時代は大きく転換しようとしています。“地方分権”“規制緩和”“構造改革”。日本も戦後半世紀以上民主主義を積み重ねる中で、国家の新しいグランドデザインがようやくかたちづくられてきた感があります。共通するキーワードは「集権から分権へ」「官から民へ」。同時に私たちの目の前には課題も山積しております。景気回復、社会保障、少子化、教育・環境問題等々。これら新しい社会の構築と課題の解決は、政治や行政が行ってくれるものでもありません。ましてや時の流れが解決するものではありません。

「自分たちのまちは自分たちで護る」「地域の課題は地域で解決する」。私たちは、地域主権を暮らしに生かすため、また課題に立ち向かうため、新しい一歩を踏み出さなければなりません。地域社会はひとりひとりの区民がかたちづいています。であるならば、山積する地域課題も一人ひとりの参加が実現してこそ解決できるものと考えます。

いま、それらの目的実現のため、区民、議員、行政職員の“協働”が求められております。“協働”の前提となるのは、それぞれの意識改革と意志の疎通です。昨年に続き、今年も立場や役割・行動原理の違いを超え、学習・対話・共感する場として、ボランティアによる市民事業『板橋フォーラム』を開催いたします。

今年は、区民の想いが通じ、『ニュース23』でお馴染みの筑紫哲也さんにおこしいただくことも、当フォーラムの大きなエポックです。板橋の新しいものがたりが、いまここから始まろうとしているのです…。



特別講演 講師

筑紫哲也 (ジャーナリスト) *Tetsuya Chikushi*

●プロフィール

1935年大分県生まれ。早稲田大学政経学部卒業後、1959年朝日新聞社入社。支局勤務を経て東京本社政治部記者。米軍統治下の沖縄特派員(1968～1970年)、ワシントン特派員(1971～1974年)、外報部次長、『朝日ジャーナル』編集長を経て編集委員。1989年より『筑紫哲也ニュース23』キャスター編集長。その他、大分県日田市『自由の森大学』(市民大学)学長。富山県魚津市『夢の森市民大学』(市民大学)学長等。今年4月より早稲田大学大学院公共経営研究科教授。

●主な著書

『総理大臣の犯罪』(サイマル出版会 1976年)
『若者たちの神々』(朝日新聞社 1984年)
『乱生を生きよ!』(日本経済新聞社1998年)
『〈政治参加〉する7つの方法』(講談社現代新書 2001年)
『ニュースキャスター』(集英社新書2002年)

《第2部シンポジスト紹介》

■福嶋浩彦(千葉県我孫子市長)

1956年鳥取県米子市出身。1981年筑波大学中退後、社会新報記者として各地の市民活動を追いかける。1983年、我孫子市議会議員に当選。市議3期目の途中で市長選に出馬し「市民派」市長として初当選。現在3期目。全国市長会理事、全国青年市長会顧問、福祉自治体ユニット代表幹事。

●福嶋市長と我孫子市の取組み

先進地代表でおこしいただく福嶋市長の我孫子市は水質汚濁ワースト記録を続けてきた手賀沼で有名であり、人口13万人を抱える首都圏のベッタウン。近年は、手賀沼水質浄化も進み、昨年ワースト記録を返上。また、「市民自治」「自治体改革」の実現をめざし、着実な取り組みを続け注目を浴びています。

介護保険制度の導入にあたっては、要介護認定について市の「独自指針」を打ち出し、厚生省に一步も引くことなくこれを認知させ、また1996年、全国で初めて市職員採用の試験委員に民間人を参加させる「民間試験委員制度」を条例化。1999年には市単独補助金をいったんすべて廃止し、改めて補助金の申請団体を公募した上で市民による検討委員会が審査を実施。その他「市民手づくり公園事業」「入札等監視委員会」「市民活動サポートセンター」の設立等々。これらの施策を貫く土台は、市長自身がもともと市民活動出身であり生協活動や障害者の作業所、環境問題等さまざまな活動に参加する中で、まちづくりは決して行政の施策だけで進むのではなく「市民ひとり一人の毎日の活動こそまちをつくる」という信念。「地方分権モデル都市をめざし市民とともに自治を拓いていきたい」と語る福嶋市長から、現在構想中の新しい政策や、まちづくりのヒントを聴くことができると思います。

■松島道昌(板橋区議会議員)

1955年群馬県生まれ。板橋区議会議員、現在3期目(無所属)。学習塾「志学ゼミ」経営。前野高齢者在宅サービスセンターで、おとしよりの家庭にお弁当を届ける配食ボランティアの活動を通じて地域がかかえる問題に関心を持つようになる。1995年、区議会議員に当選。議員定数の削減、公園の里親制度、住民提案による自転車道網整備等を実現。住民参加のまちづくりを提唱し積極的に活動を展開中。

■橋本正彦(板橋区役所政策経営部財政課長)

1954年広島県生まれ。1975年板橋区役所入区。厚生部、舟渡出張所、赤塚福祉事務所、区議会事務局(次長)、企画部企画調整課(課長)等を経て2003年より現職。財政課長として財源不足の難局を乗り切りべく奮闘中であり、次代の区役所を担う人材。

Symposist